

# 雲仙市

## 報道機関各位

令和8年7月31日

|       |              |
|-------|--------------|
| 担当課   | 雲仙市観光商工部     |
| 担当者   | 観光物産課 黒田     |
| 電 話   | 0957-47-7834 |
| F A X | 0957-38-3205 |

### 雲仙ふるさと大使 川原 誠氏(行司:木村光之助)の雲仙市長表敬訪問について

このことについて、下記のとおり雲仙市長を表敬訪問されますので、お知らせします。

#### 記

【日 時】 令和8年8月6日(木) 10時00分～10時30分

【場 所】 雲仙市役所 2階 応接室

【訪 問 者】 川原 誠氏、後援会関係者等

【訪問目的】 幕内格昇進に伴う近況報告及びあいさつ

#### ※プロフィール※

- 行 司:木村 光之助(きむら みつのすけ):高田川部屋
- 本 名:川原 誠
- 出 身 地:雲仙市吾妻町
- 略 歴:平成3年(1991年)11月場所にて二子山部屋より「木村誠二」の名で初土俵を踏む。翌年、15代花籠の独立に伴い花籠部屋へ移籍。相撲界の再編等を経て峰崎部屋、高田川部屋へと籍を移しながら研鑽を積む。平成21年(2009年)1月場所にて十枚目格(十両格)へ昇進し「三代木村光之助」を襲名。同年、雲仙ふるさと大使に就任。令和8年(2026年)1月場所に**幕内格昇進**を果たした。



# 木村光之助物語



幕内格昇進にあたってのご挨拶

「行司の道に迷いなし」 三十五年の歩みを振り返って

## 【入門の光景：床山から行司へ】

今から三十五年前。私は花籠親方の令夫人のご縁を頼りに、中学校を卒業した翌日、名門・二子山部屋の門を叩きました。当初は床山を志し、力士の美しい大銀杏（おおいちょう）を整える仕事に憧れていましたが、運命を変えたのは相撲中継で目にした「物言い」の光景でした。土俵上で毅然と軍配を振る行司の姿に「自分もあのようにになりたい」と、魂を揺さぶられる衝撃を受けたのです。

その後、幸運にも行司に欠員が出た際、親方からの問いかけに私は即座に「やらせてください」と答えました。「そんなに早く決めるな」と親方に諭されるほどの勢いでしたが、私の決心は一点の曇りもありませんでした。

## 【研鑽の日々：受け継がれる名跡】

平成三年十一月場所、本名「誠」と二子山部屋の「二」の一字を賜った「木村誠二」として、私の行司人生は幕を開けました。師匠からは礼儀作法や相撲字（毛筆）の書き方に至るまで厳格なご指導を仰ぎ、行司としての根幹を叩き込んでいただきました。

平成二十一年の十両格昇進の折には、二子山部屋時代より背中を追い続けていた恩師・三十四代式守伊之助師匠ゆかりの名跡であり、師が三役格時代に名乗られた「木村光之助」を継承させていただき運びとなりました。

この上ない光栄に浴し、身の引き締まる思いです。

## 【高田川部屋との縁、そして幕内格へ】

その後、縁あって現在の高田川部屋へと籍を移しました。温かく家族のような部屋の空気、そして高田川親方・女将さんをはじめ、関取や力士たちの優しさに支えられ、後援会の皆様にも「光之助」の名を親しんでいただけるようになったことは、何よりの喜びです。

そして令和八年一月場所。おかげさまで幕内格へと昇進し、紅白の菊綴（きくとじ）を付けた装束で土俵に上がる日が参りました。幕内土俵入りの先導を務めた際、装束の重みに改めて身の引き締まる思いがいたしました。

## 【未来への決意】

定年までの残り十五年。目指すは、かつての師でもある三十八代木村庄之助親方のような、威風堂々たる立行司の姿です。これからも高田川部屋の一員である誇りを胸に、真摯に「行司道」を邁進してまいる所存です。

皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますように、衷心よりお願い申し上げます。



首投げ  
押し出し  
寄り切り  
肩透かし  
押し倒し



## 三代 木村光之助 昇進への軌跡

- ・ 1991 年 11 月場所 初土俵（名：木村誠二）
- ・ 1992 年 1 月場所 序の口格として番付に初掲載
- ・ 1994 年 1 月場所 序二段格昇進
- ・ 1998 年 1 月場所 三段目格昇進
- ・ 2004 年 1 月場所 幕下格昇進
- ・ 2009 年 1 月場所 十枚目格（十両）昇進  
※三代 木村光之助を襲名
- ・ 2026 年 1 月場所 幕内格昇進

## 人物紹介・歩み

長崎県雲仙市吾妻町出身。1991 年 11 月二子山部屋より「木村誠二」の名で初土俵を踏む。

翌 1992 年、師匠である 15 代花籠（元関脇・太寿山）の独立に同行し、花籠部屋に移籍。その後相撲界の再編に伴い、峰崎部屋、高田川部屋へと籍を移しながら、行司としての研鑽を積む。

2009 年 1 月場所には十枚目格（十両格）へと昇進し、伝統ある「三代 木村光之助」の名を継承。そして 2026 年 1 月場所、長年の精進が実り待望の幕内格昇進を果たした。

## 主な活動・歩み

- ・ 2008 年 11 月 2 日 十両格昇進祝賀会開催（森田屋にて）
- ・ 2008 年 行司の装束の家紋に「雲仙市市章」を冠する許可を拝受
- ・ 2009 年 「雲仙ふるさと大使」に任命
- ・ 2014 年 映画「テルマエ・ロマエⅡ」に行司役として出演
- ・ 2016 年 1 月場所 両国国技館内「決まり手」電光掲示板の揮毫を担当
- ・ 2016 年 4 月 2 日 サッカー J リーグ「川崎フロンターレ」公式戦にて選手紹介アナウンスを担当
- ・ 2022 年 1 月場所 番付編成に携わる「番付係」に着任
- ・ 2023 年 8 月 15 日 雲仙市役所を訪問し、金澤秀三郎市長へ表敬訪問

